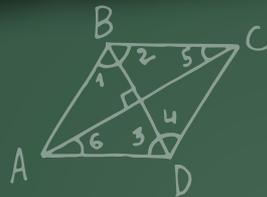




$$E=mc^2$$



$$F=qvB \sin \theta$$

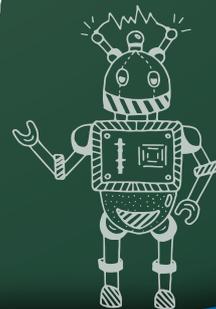
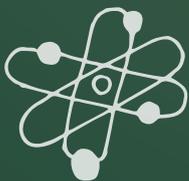


The Society of Exploration Geophysicists of Japan

物理探査学会

第13回 国際シンポジウム

The 13th SEGJ International Symposium



高校生 のための 物理探査講座

Lecture 01 **物理探査
自然の謎解きの技術**

Lecture 02 **海底での地下探査と
地震・資源研究の最前線**

日時：2018年11月12日(月) 16時から2時間半程度(予定)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター・国際交流棟

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 <https://nyc.niye.go.jp/>

Lecture 01

物理探査

須藤公也 Koya Suto

Terra Australis Geophysica Pty Ltd.
オーストラリア物理探査学会元会長

自然の謎解きの技術

概要: 「物理探査」といういかめしい名前を聞くと、どうしても難しいことのように思ってしまう。

犯罪捜査の犯人捜しなら推理小説や映画にもなるのに、われわれの生活に必要な資源を探したり

地盤を調べたりする話は、普段あんまり聞きません。でも、月や惑星の探査の話なら時々ニュースになりますね。

物理探査技術は遠くの天体を調べる技術の基礎になっているのです。

地下の见えないものを調べる技術が物理探査なのです。 见えないもの、わからないものについて

データを集めて推測する、地球の内部の構造やそこに何があるかを探ったり、自然の謎解きの道具です。

私たちはこの道具を使って、探偵のような仕事をしています。

新しい問題が起こると、道具を作ることもします。そこには挑戦もあり、楽しみもあります。

この講演では物理探査の楽しみを平易にお話しします。

G E O P H Y S I C S

Lecture 02

海底での地下探査と

後藤忠徳 Tadanori Goto

京都大学准教授・物理探査学会理事

地震・資源研究の最前線

概要: 前人未達のフロンティア「深海」はロマンの宝庫ですが、陸に住む私たちにとっては縁遠い存在になりがちです。

でも本当に「縁遠い」のでしょうか?

深海には地震・津波災害の研究最前線があり、新たな海底資源も潜んでいます。

そこで本講演では、海底での地下探査のうち、微弱な電気信号を利用した探査技術について、

映像を交えつつ紹介します。海底面よりもさらに下の地下世界と、人の暮らしの関わりを考えるとともに、

「目に見えないことを科学する」という大事さ・楽しさについて

考えてみたいと思います。



**参加費
無料!**

野外デモ

物理探査を体験していただきます! (協力: 応用地質株式会社)

研究室紹介冊子配布

物理探査を学べる大学研究室を紹介する冊子を配布します!

参加申込

電子メールに 氏名・メールアドレス・高校名・学年 を明記して、
下記問い合わせ先まで送付してください。(複数名まとめてお送りいただいて結構です。)

問い合わせ先

首都大学東京 都市環境学部 都市基盤環境学科
准教授 小田義也 (oda@tmu.ac.jp)

※本講座は科研費(課題番号 18HP0303)の助成を受けています。



主催:

公益社団法人

物理探査学会

The Society of Exploration Geophysicists of Japan

<http://www.segj.org/>

The 13th SEGJ International Symposium